

**☑ 補助金をご活用ください!**

自主防災組織の活動を支援するための各種補助金をご活用ください。

**自主防災組織活動支援事業補助金**

自主防災組織を結成している団体が、地域の防災意識の高揚を目的とした研修会・防災訓練などを実施する場合や、自主防災活動のための資機材の整備を行う場合、その経費の一部を補助します。

◇自主防災活動事業

補助率：事業費の1/2以内

限度額：自主防災組織加入世帯数 100世帯以上 50,000円  
100世帯未満 30,000円

対象経費：研修会・防災訓練などの自主防災活動に要する費用

◇資機材整備事業

補助率：事業費の1/2以内

限度額：80,000円

対象経費：次の表のとおり



令和4年5月に、本補助金を活用して百田町内会自主防災会が街頭用消火器を整備しました。

区分	内容	補助金交付	
防災資機材	初期消火用	街頭用消火器、消火器格納庫、バケツ、小型動力ポンプ、ホース、放水補助器具、発電機など	5年に1回
	救出救護用	自動体外式除細動器(AED)、ヘルメット、バール、丸太、掛矢、ロープ、リヤカー、スコップ、はしご、脚立、テント、チェーンソー、救急箱、担架、防煙マスク、毛布、のこぎりなど	
	避難誘導用	ラジオ、無線機器(簡易で携帯用)、電池メガホン、標識板など	
	給食給水用	給水タンク、緊急用ろ水装置、飲料用水槽、炊飯装置など	
	その他	簡易資機材倉庫	

※補助金の交付決定前に実施・購入した費用は対象となりません。活用をお考えの場合は、事前に危機管理課へお問い合わせください。

**コミュニティ助成事業補助金(地域防災組織育成助成事業)**

財団法人自治総合センターが行う宝くじの社会貢献広報事業「コミュニティ助成事業(地域防災組織育成助成事業)」を活用し、防災資機材などの整備を行う自主防災組織に対して補助金を交付します。

例年、8月ごろから次年度事業の募集が始まります。申請を検討している団体は、お気軽にご相談ください。

補助額：30万円から200万円

対象経費：防災資機材の整備に要する経費(建築物、消耗品は除く)



令和3年度に、本補助金を活用して宮下町内会自主防災会が、簡易資機材倉庫やリヤカー、テント、発電機、簡易トイレなどの防災資機材を整備しました。

# 自主防災組織を育てよう

危機管理課 ☎0869-22-3904

**☑ 自主防災組織とは**

自主防災組織とは、地域住民が自主的な防災活動を行う組織のことです(瀬戸内市では、「自主防災会」と呼んでいます)。

近年の突発的に発生する大規模災害の教訓から、行政主導の災害対策では限界があり、住民主体の防災対策を進めていく必要があるといわれており、自主防災組織は、そうした対策の核となる組織です。

自主防災組織は、平時には防災知識の普及啓発や防災訓練、防災資機材の備蓄などに取り組み、災害時には初期消火や住民の避難誘導、避難所の運営などを実施します。瀬戸内市では、自主防災組織の活動を支援するために、補助金の制度を整備したり、防災出前講座を実施したりしています。詳しくは、危機管理課までご相談ください。



**☑ 平時のうちから取り組みましょう**

災害は、突然起こります。平時から地域で助け合い、さまざまな準備をしておきましょう。

**(1) 家庭内の安全対策**

地域で声をかけあって、家庭内での安全対策を進めましょう。

家庭内の転倒防止器具の設置、消火器の設置、非常持出袋の用意などを地域全体で進めましょう。



**(2) 防災知識の普及啓発**

地域の防災意識の向上は、非常に重要な取り組みです。

危機管理課では、災害に関する基本的な知識や備えの方法、自主防災組織の活動の進め方などについて、防災出前講座を行っています。

また、防災アプリのインストール方法や操作方法の説明を行うこともできます。防災出前講座を依頼する場合は、事前に危機管理課へご連絡ください。

**(3) 防災訓練の実施**

災害時に、安全に避難するためには、日頃からの防災訓練が欠かせません。

地域の皆さんで協力し、さまざまな事態を想定した消火や避難誘導、応急処置などの訓練を計画的に行うことで、実践的な災害対応力を養いましょう。

毎年地域で行う草刈りや、祭りなどの行事と組み合わせて行うと効果的です。



**◎ 自主防災活動 NEWS ◎**

令和4年4月に、牛窓・中浦地区自主防災会が、津波災害を想定した避難訓練を実施しました。

最寄りの指定緊急避難場所まで、中浦地区住民の皆さんが避難しました。

あわせて、避難先ではアンケート調査を行い、次回以降の活動につなげる予定です。



小雨の中でしたが、約30人が参加しました。